

## 平成 26 年度 第 2 回 磐田市歴史文書館運営審議会

日時 平成 27 年 1 月 27 日 ( 火 ) 13 : 30 ~ 15 : 28

場所 磐田市竜洋支所 2 階 会議室

出席者 市歴史文書館運営審議会委員 7 名

鈴木直会長 小杉副会長 鈴木潔委員 高橋委員 市川委員 杉浦委員  
石川委員

出席職員 教育委員会事務局職員 7 名

飯田教育長・鈴木教育部長

大箸課長・佐藤館長・山室副主任・名倉囑託・鮫嶋囑託

傍聴人 なし

### 議事

#### 1. 報告事項

##### (1) 非現用公文書等の移管選別状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし ( 承認 )

##### (2) 企画展、レファレンス利用状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

企画展を好意的に見ていただけたのは、いい展示だったと思う。また、中央図書館で行うことで、市の北部の方にも企画展を見ていただける。松岡霊社では、地元の方々が、毎年、二条亭行幸図や拾遺手鑑などを虫干しして、大事に保管してきた。その思いを、大事に思わなければならないし、感謝しなければならないことだと感じる。地元の人たちのご苦勞を顕彰してあげたいと思う。

( 回 答 ) 企画展を開催するに当っては、基本的には個人所有物は基本的に名前を伏せるようにしている。ただ、神社所有物で、大事に保存していただいたことを表に出して、今までの苦勞があり、世に残されているということ、はっきりと知らせていくように考えていきたい。

松岡霊社と関係する岡部の若宮八幡宮の所蔵品と一緒に展示できるような機会を作っていただけるとありがたい。

( 回 答 ) 情報提供を求められているので、お互いに協力しながら考えていきたい。

##### (3) 地域資料の受入れ整理状況について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

寄贈者へのお礼の方法は、

( 回 答 ) 市長名でお礼状を出している。寄贈すると、身近で見ることが出来なくなることを心配される場合、目録や画像データを提供するなどの対応、相談は受けている。

寄贈の内容欄に「牛尾隊兵士所持軍刀と共に寄贈」とあるが、共にというのは、他に何かあったのか。

(回答) 軍刀は埋蔵文化センターが所管し、その他の文書資料は歴史文書館で預かったということである。

(4)歴史学習会について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

(5)古文書解読講座について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

(6)福田町史編さん事業について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕 なし (承認)

## 2. 協議事項

(1)平成 27 年度事業計画について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

第 15 回企画展の展示趣旨が「近代日本の形成に尽力した大久保氏を中心に」となっているが、磐田市の場合は、赤松氏も該当すると思うが、「大久保氏と赤松氏を中心に」というほうがいいのではないか。

(回答) 赤松家に関しては、赤松家記念館があるので、コラボレーションしていきたいと考えている。

ここにも赤松家の資料が、かなりたくさん、寄贈されたものがあると思うが、それは出さないのか。

(回答) 関連性があるものに関しては出していく。

大久保氏と地元とのつながりというのはどれくらいあるのか。

(回答) 地元の神官との結びつきによって、報国隊の関係、あるいは見付学校、開いた塾の関係、陸軍の演習を指揮するために大久保邸に宮様が滞在された写真、それに関わる手紙など、磐田を拠点にして、全国的に活躍をされたところが一つの焦点になると思っている。なるべく、地元の資料を中心にすると考えている。

出前講座について、説明をお願いしたい。

(回答) 資料館や企画展の見学、掛塚の町並みを見たい、地域の歴史が知りたいなど、小学校や自治会等から依頼があり、実施している。来年度も要請に応えていきたい。

講座は、市の南部地域に多いので、北部の方にも宣伝をしたらどうか。

(回答) 生涯学習関係から話が行っており、昨年度、生涯学習担当課からの依頼で、旧豊岡村で出前講座を行っている。

遠州報国隊については、昭和 48 年に静岡県神社庁から出ている厚い本に載っている  
ので、資料を集めて、加えていただければありがたい。

(回 答) 遠州報国隊については、歴史文書館資料を中心に、大久保家文書の中にたく  
さん見受けられ、その中に長谷川貞夫など関係する人物名が出てくると思わ  
れるので、それを中心に使っていきたいと思っている。

磐田市へ寄贈された津倉さんの家屋敷が、浜北の森岡の家のような形で消滅しな  
いように是非お願いしたい。

(2)歴史文書館管理運営要領の一部改正(案)について

〔事務局より説明〕

〔委員からの意見〕

許可条件「掲載図書等を完成した後、磐田市歴史文書館へ 2 部寄贈すること」と  
あるが、2 部の意味は。

(回 答) 資料は 3 部収集するようにしている。ただ、自費出版される可能性がある  
場合、一部は保存用、一部は公開用にしているので、最低 2 部は寄贈願  
いたい。

自費出版の人は、いろいろ調査して、本を作ると思う。2 冊ずつ贈ると、本当に  
読んでもらいたい、あるいはお礼に差し上げる分が減ってしまい、非常に苦しいの  
ではないかと思う。寄贈を 1 部にし、公開イコール保存用にならないか。

(回 答) 諸事情があると思うので、相談に応じる。ただ、他の公文書館と部数は合わ  
せている。3 部を 2 部に減らしているので、ご理解いただきたい。

足立喜六氏の資料を、藤枝市の所蔵者からいただけてきたら、こちらではどのように  
扱っていただけるのか。

(回 答) 地元にお住まいの足立氏に関係する方も、足立氏が長年生活を共にされた方  
がいる藤枝市を優先してということであった。決して収集しないということ  
ではない。

そのお宅から「これは生まれ故郷の磐田市の方へ」ということであれば、こちら  
へ持ってくれば、善処していただけるのか。

(回 答) 磐田市の資料が他に出ていった、磐田市から他へ転居された方が持っていか  
れた資料を、転居先の市町村役場に歴史的資料を所蔵しているとの申し出をされ  
た、申し出をされた先の市町村から磐田市に連絡をいただくこともある。そう  
いう対応を含めて、磐田市で保存をすることも考えていきたい。

藤枝の許可がないと、持ってくるできないのか。

(回 答) 磐田にお住まいの方が、藤枝優先のお考えであるが、所有者が磐田市への寄  
贈をお考えで、磐田市で寄贈をお受けできるものであれば、お受けする対応  
がよいのではないかと考える。

(3)その他

〔委員からの意見〕

松岡萬の所蔵品がたくさん寄贈されているが、専門家も、保管場所をしっかり  
したものにしてほしいと言っている。埋蔵文化財センターにある特別収蔵庫へ入れ

るなどしてほしい。特別収蔵庫が満杯で入らないならば、特別収蔵庫の増設を考えるべきではないか。

全部真筆であったら、文化財保護審議会との相談の上で、磐田の指定文化財にするなど、文化財課の考えがあるか聞きたい。

- (回 答) 若干保管できるスペースを確認している。中の整理も含めて、出来る限り、管理が適正な場所に移管することを検討していきたい。  
文化財の指定については、とにかく経緯と審議がからんでくるので、文化財保護審議会の先生方に再度確認して、市としての考え方や具体的な是非の話を含めて、調査させていただきたい。

新規資料購入費を使って、毎年、新資料が増えているのか。また、磐田市関係のものを持って来られて購入してほしいという話があるのか。

インターネットなどで、磐田市の関係の資料があることがわかって、取り寄せるような例も多々あるのか。

- (回 答) 予算として、古文書等資料の購入費は計上していない。購入は、ここ1、2年では1冊、古書店から書籍を購入したが、ここ数年については、購入実績はない。古文書等の販売情報には、磐田市に関する情報も載っていた時もあるが、磐田市が購入する価値を見出すほどの資料ではなかった。購入は断念した。数年以上前には、購入したというものもあった。最近はない。個人からの購入依頼の話はあるが、磐田市としては、基本的に寄贈のお願いをし、申し出は取り下げさせていただいた。  
地図、昔の絵地図など、いろいろなところで持っているものであるが、取り寄せないと利用できないものであれば、取り寄せを行う。最近インターネット画像を、出力できるようにはなかなかないようである。精細な箇所まで見ることができるよう、絵図なども非常にいい画像が保存されている。利用するについては、相手に連絡を取らせていただいたということはある。これからも、情報を集めて、できるだけ資料は収集していきたい。

〔事務局より説明〕 福田町史で収集した資料を生かす方法の方向性の意見を伺いたい。

〔委員からの意見〕

ボランティアを募ったらどうか。古文書などの解読ができる人はたくさんいるし、写真を撮ったり、パソコンに入力してくれる人もいると思う。

できることから取り組んでいったらどうか。

- (回 答) 主要な調査先のお宅の文書を、将来的にはお預かりする話がある。